
安全データシート

作成 2022年08月10日

1. 製品及び会社情報

製品名 : ATAC-seq package - 24 rxns
製品コード : C01080006

Kit の構成	C01080004	Tissue Nuclei Extraction for ATAC-seq 24 rxns
	C01080002	ATAC-seq kit - 24rxns
	C01011034	24 UDI for tagmented libraries - Set1

会社名 : 株式会社ダイアジェノード
住所 : 富山県富山市荒川1丁目1番25号
電話番号 : 076-482-3110
FAX 番号 : 076-482-3211

安全データシート

作成 2022年07月15日

1. 製品及び会社情報

製品名 : Tissue Nuclei Extraction for ATAC-seq
製品コード : C01080004
Kit の構成 ①Lysis Buffer 1
②Lysis Buffer 2
③Nuclei Isolation Buffer 1
④Nuclei Isolation Buffer 2
⑤Nuclei Isolation Buffer 3

会社名 : 株式会社ダイアジェノード
住所 : 富山県富山市荒川1丁目1番25号
電話番号 : 076-482-3110
FAX 番号 : 076-482-3211

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : なし
絵表示 : なし
注意喚起語 : なし
物理化学的危険性 : 通常の取り扱いでは、危険性は低い
健康有害性 : 通常の取り扱いでは、危険性は低い
環境有害性 : 通常の取り扱いでは、危険性は低い

3. 組成及び成分情報

①Lysis Buffer 1 , ②Lysis Buffer 2 , ③Nuclei Isolation Buffer 1 , ④Nuclei Isolation Buffer 2
⑤Nuclei Isolation Buffer 3

化学物質・混合物 : 混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗い流す。炎症を生じた時は医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合 : 直ちに多量の水で15分以上洗い流す。
異常があれば、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : データなし

5. 火災時の措置

消火剤 : 噴霧水、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤 : 特になし
火災時の特有危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有害なガスを発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法 : 火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。

消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置 : 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止措置及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
適切な防護衣を着けていない時は破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材 : 漏出した液は、ウェス、雑巾で出来るだけ回収し、こぼした所を完全に拭きとる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 特になし

局所排気・全体換気 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱注意事項 : 漏れ、溢れ、飛散などしないようにする。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
適切な保護具を着用する。

接触回避 : データなし

保管

適切な保管条件 : 室温で保管する。

技術的対策 : 特になし

混触禁止物質 : データなし

安全な容器包装材料 : 高密度ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

ACGIH(TLV) : データなし

日本産業衛生学会 : 設定されていない

設備対策 : 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスク

手の保護具 : 適切な保護手袋

目の保護具 : 適切な保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護作業衣、保護靴

9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状態、形状、色など） : 無色澄明な液体

臭い : 無臭

融点・凝固点 : データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし

可燃性 : データなし

燃焼又は爆発範囲(上限・下限) : データなし

引火点 : データなし

自然発火温度 : データなし

分解温度 : データなし

pH : データなし

動粘性率 : データなし

溶解度	: 水と混合する
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の条件下では安定
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 日光、熱
混触禁止物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 なお上記方法による処理が出来ない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当なし	
海洋汚染物質	: 非該当	
国際規制		
陸上規制情報	: ADR/RID	規制されていない
海上規制情報	: IMO	規制されていない
航空規制情報	: ICAO/IATA	規制されていない
国内規制		
陸上規制情報	: 規制なし	
海上規制情報	: 非危険物	
航空規制情報	: 非危険物	

特別な安全対策 : 運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当
化学物質管理促進法(化管法) : 非該当

16. その他の情報

引用 NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)
http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
原料試薬供給先から提供された SDS 等

- * 本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。
- * 新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。
- * 記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
- * 特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください

安全データシート

作成 2022年07月15日

1. 製品及び会社情報

製品名	: ATAC-seq Kit	
製品コード	: C01080002	
	Kit の構成	①ATAC Lysis Buffer 1 ②ATAC Lysis Buffer 2 ③10% Tween20 ④Nuclease-free water ⑤Protease inhibitor cocktail ⑥Tagmentase (loaded) ⑦2×High-Fidelity Mastermix ⑧Tagmentation Buffer (2×) ⑨100×SYBR ⑩ChIP DNA Binding Buffer ⑪DNA Wash Buffer ⑫DNA Elution Buffer ⑬Spin columns ⑭Collection Tubes (2mL)
会社名	: 株式会社ダイアジェノード	
住所	: 富山県富山市荒川1丁目1番25号	
電話番号	: 076-482-3110	
FAX 番号	: 076-482-3211	

2. 危険有害性の要約

⑤Protease inhibitor cocktail (ジメチルスルホキシド)について記載

GHS 分類 : 引火性液体 : 区分 4
 特定標的臓器毒性・単回ばく露 : 区分 2 (呼吸器)

GHS ラベル要素

注意喚起語



警告

危険有害性情報

: H227 可燃性液体
 H371 呼吸器障害のおそれ

注意書き 【安全対策】

P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
 P260 粉塵、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 P264 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
 P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 P308+P311 ばく露又は、ばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること
 P370+P378 火災の場合には適切な消火方法をとること。

【応急措置】

【保管】

P403 換気の良い所で保管すること。
 P405 施錠して保管すること。

【廃棄】

P501 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

⑦2×High-Fidelity Mastermix (ジメチルスルホキシド)について記載

GHS 分類 : 特定標的臓器毒性・単回ばく露 : 区分 2 (呼吸器)

GHS ラベル要素

注意喚起語



警告

危険有害性情報	: H371 呼吸器障害のおそれ
注意書き 【安全対策】	P260 粉塵、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 P264 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。 P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
【応急措置】	P308+P311 ばく露又は、ばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること
【保管】	P405 施錠して保管すること。
【廃棄】	P501 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

⑧Tagmentation Buffer (2×) (N,N-ジメチルホルムアミド) について記載

GHS 分類	: 引火性液体	: 区分 3
	急性毒性 (吸入：蒸気)	: 区分 4
	皮膚腐食性・刺激性	: 区分 2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分 2B
	生殖細胞変異原性	: 区分 2
	発がん性	: 区分 1B
	生殖毒性	: 区分 1B
	特定標的臓器毒性・単回ばく露	: 区分 1 (肝臓) 区分 2 (呼吸器)
	特定標的臓器毒性・反復ばく露	: 区分 1 (肝臓)

GHS ラベル要素

注意喚起語



危険

危険有害性情報

: H226 引火性液体及び蒸気
H315 皮膚刺激
H320 眼刺激
H332 吸入すると有害
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
H350 発がんのおそれ
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H370 肝臓の障害
H371 呼吸器の障害のおそれ
H372 長期又は反復ばく露による肝臓の障害

注意書き 【安全対策】

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
P210 熱、火花、裸火のような着火源から遠ざけること。一禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P240 容器および受器を接地すること。
P241 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
P260 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後はよく手を洗うこと。
P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
P280 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
【応急措置】
P312 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
P314 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
P302+P352 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗うこと。
P304+P340 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P308+P311 ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当を受けること。
P337+P313 目の刺激が続く場合、医師の診断、手当を受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぐこと、再使用する場合には洗濯すること。
P370+P378 火災の場合には適切な消火方法をとること。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

【保管】	P303+P361+P353 皮膚(または髪)にかかった場合：直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
【廃棄】	P405 施錠して保管すること。 P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しい所に置くこと。 P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

⑩ChIP DNA Binding buffer (グアニジン塩酸塩)について記載

GHS 分類 : 皮膚腐食性・刺激性 : 区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 2A

GHS ラベル要素

注意喚起語



警告

危険有害性情報

: H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激

注意書き 【安全対策】

P264 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
P337+P313 目の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぐこと。再使用する場合には洗濯すること。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。

【応急措置】

3. 組成及び成分情報

①ATAC Lysis Buffer 1, ②ATAC Lysis Buffer 2, ③10% Tween20, ④Nuclease-free water, ⑥Tagmentase (loaded)
⑨100×SYBR, ⑩DNA Wash Buffer, ⑫DNA Elution Buffer

化学物質・混合物 : 混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

⑤Protease inhibitor cocktail

化学物質・混合物 : 混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
ジメチルスルホキシド	<100% (w/w)	(CH ₃) ₂ SO	67-68-5	ジメチルスルホキシド
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

⑦2×High-Fidelity Mastermix

化学物質・混合物 : 混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
ジメチルスルホキシド	≤10% (w/w)	(CH ₃) ₂ SO	67-68-5	ジメチルスルホキシド
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

⑧Tagmentation Buffer (2×)

化学物質・混合物 : 混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
N,N-ジメチルホルムアミド	≤10% (w/w)	HCON(CH ₃) ₂	68-12-2	N,N-ジメチルホルムアミド
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

⑩ChIP DNA Binding Buffer

化学物質・混合物 : 混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
グアニジン塩酸塩	≤30% (w/w)	NH ₂ C(NH ₂) ₂ ·HCl	50-01-1	グアニジン塩酸塩
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 多量の水と石鹸で洗い流す。炎症を生じた時は医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	: 直ちに多量の水で15分以上洗い流す。 異常があれば、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: データなし

5. 火災時の措置

消火剤	: 噴霧水、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤	: 特になし
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有害なガスを発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置	: 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止措置及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていない時は破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法・機材	: 漏出した液は、ウェス、雑巾で出来るだけ回収し、こぼした所を完全に拭きとる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 特になし
局所排気・全体換気	: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱注意事項	: 眼、皮膚との接触を避けること。飲み込みを避けること。ガスを吸入しないこと。 適切な保護具を着用する。 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。 環境への放出を避けること。
接触回避	: データなし
保管	
適切な保管条件	: マニュアルを参考にすること。
技術的対策	: 特になし
混触禁止物質	: 「10. 安定性及び反応性」の項を参照
安全な容器包装材料	: 高密度ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 ACGIH(TLV)	: データなし
--------------------	---------

日本産業衛生学会	: 設定されていない
設備対策	: 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 適切な保護手袋
目の保護具	: 適切な保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護作業衣, 保護靴

9. 物理的及び化学的性質

外観 (物理的状態、形状、色など)

	: 無色澄明な液体	⑨: オレンジ色の液体
臭い	: 無臭	③⑦⑧⑨⑩⑪⑫: 独特な臭い
融点・凝固点	: データなし	④: 0°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし	④: 100°C
可燃性	: データなし	
燃焼又は爆発範囲(上限・下限)	: データなし	
引火点	: データなし	
自然発火温度	: データなし	
分解温度	: データなし	
pH	: データなし	
動粘性率	: データなし	
溶解度	: 水と混合する	
n-オクタノール/水分配係数	: データなし	
蒸気圧	: データなし	
密度及び/又は相対密度	: データなし	
相対ガス密度	: データなし	
粒子特性	: データなし	

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 日光、熱
混触禁止物質	: ③⑤⑥⑦⑧⑩: 酸化性物質
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

⑤Protease inhibitor cocktail (ジメチルスルホキシド)について記載

急性毒性	: 経口 LD ₅₀ > 5,000mg/kg 経皮 LD ₅₀ > 5,000mg/kg 吸入 LC ₅₀ > 5mg/L/4h	区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性	: 「弱い皮膚刺激」	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 「軽度の眼刺激。72 時間後に消失」	区分に該当しない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性: データなし 皮膚感作性: 皮膚監査性試験 陰性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	: 小核試験、優性致死試験及び姉妹染色分体交換試験: 陰性	区分に該当しない
発がん性	: データなし	
生殖毒性	: データなし	
特定標的臓器毒性・単回ばく露	: 「呼吸器の障害のおそれ」	区分 2 (呼吸器)
特定標的臓器毒性・反復ばく露	: 「反復ばく露の結果、影響は報告されていない。」	区分に該当しない
誤えん有害性	: データなし	

⑦2×High-Fidelity Mastermix (ジメチルスルホキシド)について記載

急性毒性	: 経口 LD ₅₀ > 5,000mg/kg 経皮 LD ₅₀ > 5,000mg/kg	区分に該当しない 区分に該当しない
------	--	----------------------

皮膚腐食性・刺激性	吸入 LC ₅₀ >5mg/L/4h : 「弱い皮膚刺激」	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 「軽度の眼刺激。72 時間後に消失」	区分に該当しない
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: 呼吸器感受性: データなし 皮膚感受性: 皮膚監査性試験 陰性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	: 小核試験、優性致死試験及び姉妹染色分体交換試験: 陰性	区分に該当しない
発がん性	: データなし	
生殖毒性	: データなし	
特定標的臓器毒性・単回ばく露	: 「呼吸器の障害のおそれ」	区分 2 (呼吸器)
特定標的臓器毒性・反復ばく露	: 「反復ばく露の結果、影響は報告されていない。」	区分に該当しない
誤えん有害性	: データなし	

⑧Tagmentation Buffer (2×) (N,N-ジメチルホルムアミド) について記載

急性毒性	: 経口 LD ₅₀ >5,000mg/kg 経皮 LD ₅₀ >5,000mg/kg 吸入 LC ₅₀ =15700ppm	区分に該当しない 区分に該当しない 区分 4
皮膚腐食性・刺激性	: 「皮膚刺激」	区分 2
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 「眼刺激」	区分 2B
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: データなし	
生殖細胞変異原性	: 「遺伝性疾患のおそれの疑い」	区分 2
発がん性	: 「発がんのおそれ」	区分 1B
生殖毒性	: 「生殖能又は胎児への悪影響のおそれ」	区分 1B
特定標的臓器毒性・単回ばく露	: 「肝臓の障害」 「呼吸器の障害のおそれ」	区分 1 (肝臓) 区分 2 (呼吸器)
特定標的臓器毒性・反復ばく露	: 「長期又は反復ばく露による肝臓の障害」	区分 1 (肝臓)
誤えん有害性	: データなし	

⑩ChIP DNA Binding buffer (グアニジン塩酸塩)について記載

急性毒性	: 経口 LD ₅₀ >2,000 mg/kg 経皮 LD ₅₀ >2,000 mg/kg 吸入 データなし	区分に該当しない 区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性	: 「皮膚刺激」	区分 2
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 「強い眼刺激」	区分 2A
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: データなし	
生殖細胞変異原性	: データなし	
発がん性	: データなし	
生殖毒性	: データなし	
特定標的臓器毒性・単回ばく露	: データなし	
特定標的臓器毒性・反復ばく露	: データなし	
誤えん有害性	: データなし	

12. 環境影響情報

⑤Protease inhibitor cocktail (ジメチルスルホキシド)について記載

生態毒性	: 魚類(ニジマス) LC ₅₀ >100mg/L/96H 水生環境急性有害性: 区分に該当しない
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

⑦2×High-Fidelity Mastermix (ジメチルスルホキシド)について記載

生態毒性	: 魚類(ニジマス) LC ₅₀ >100mg/L/96H 水生環境急性有害性: 区分に該当しない
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

⑧Tagmentation Buffer (2×) (N,N-ジメチルホルムアミド) について記載	
生態毒性	: 魚類 (ヒメダカ) LC ₅₀ >100mg/L /96H 水生環境急性有害性: 区分に該当しない
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: 難水溶性でなく(水溶解度=1.00×10 ⁶ mg/L) 水生環境慢性有害性: 区分に該当しない
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

⑩ChIP DNA Binding buffer (グアニジン塩酸塩)について記載	
生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 なお上記方法による処理が出来ない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 1993
品名	: Flammable liquid, n.o.s. (N,N -Dimethylformamide)
国連分類	: 3
容器等級	: III
海洋汚染物質	: 非該当
国際規制	
陸上規制情報	: ADR/RID の規定に従う。
海上規制情報	: IMO の規定に従う。
航空規制情報	: ICAO/IATA の規定に従う。
国内規制	
陸上規制情報	: 消防法の規定に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
特別の安全対策	: 輸送の際には、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れないように積み込み荷崩れの防止を確実にする。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。 移送時にイエローカードの保持が必要。

15. 適用法令

ジメチルスルホキシド	
消防法	: 危険物第四類 第三石油類 危険等級III 水溶性
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法	: 非該当
N,N-ジメチルホルムアミドについて記載	
消防法	: 危険物第四類 第二石油類 危険等級III 水溶性
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき有害物 (法第 57 条) No.299 名称等を通知すべき有害物 (法第 57 条の 2) No.299
化学物質管理促進法 (化管法)	: 管理 No.232 第 1 種指定化学物質

グアニジン塩酸塩について記載

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法	: 非該当

16. その他の情報

引用 NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)
http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
経済産業省 GHS 混合物分類判定システム (ver4.0)
政府による GHS 分類結果 (令和元年度分) のインポート用テキストファイル
原料試薬供給先から提供された SDS 等

- * 本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。
- * 新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。
- * 記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
- * 特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください

安全データシート

作成 2022年07月15日

1. 製品及び会社情報

製品名 : 24 UDI for Tagmented libraries - Set1
製品コード : C01011034
Kit の構成 ①Primer pair UDI 1
②Primer pair UDI2~17、19、20、22~26

会社名 : 株式会社ダイアジェノード
住所 : 富山県富山市荒川1丁目1番25号
電話番号 : 076-482-3110
FAX 番号 : 076-482-3211

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : なし
絵表示 : なし
注意喚起語 : なし
物理化学的危険性 : 通常の取り扱いでは、危険性は低い
健康有害性 : 通常の取り扱いでは、危険性は低い
環境有害性 : 通常の取り扱いでは、危険性は低い

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物 : 混合物
この製品は緩衝液、オリゴヌクレオチドから成ります。
危険有害成分は含まれていません。

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗い流す。炎症を生じた時は医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合 : 直ちに多量の水で15分以上洗い流す。
異常があれば、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : データなし

5. 火災時の措置

消火剤 : 噴霧水、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤 : 特になし
火災時の特有危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有害なガスを発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。

特有の消火方法 : 火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。

消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置

: 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止措置及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

: 適切な防護衣を着けていない時は破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
: 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

: 漏出した液は、ウエス、雑巾で出来るだけ回収し、こぼした所を完全に拭きとる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 特になし

局所排気・全体換気

: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱注意事項

: 漏れ、溢れ、飛散などしないようにする。
: 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
: 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
: 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
: 適切な保護具を着用する。

接触回避

: データなし

保管

適切な保管条件

: 室温で保管する。

技術的対策

: 特になし

混触禁止物質

: データなし

安全な容器包装材料

: 高密度ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

ACGIH(TLV)

: データなし

日本産業衛生学会

: 設定されていない

設備対策

: 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

: 保護マスク

手の保護具

: 適切な保護手袋

目の保護具

: 適切な保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

: 適切な保護作業衣、保護靴

9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状态、形状、色など）

: 無色澄明な液体

臭い

: 無臭

融点・凝固点

: データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

: データなし

可燃性

: データなし

燃焼又は爆発範囲(上限・下限)

: データなし

引火点

: データなし

自然発火温度

: データなし

分解温度

: データなし

pH

: データなし

動粘性率

: データなし

溶解度

: 水と混合する

n-オクタノール/水分配係数

: データなし

蒸気圧

: データなし

密度及び γ 又は相対密度

: データなし

相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の条件下では安定
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 日光、熱
混触禁止物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: データなし
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 なお上記方法による処理が出来ない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当なし
海洋汚染物質	: 非該当
国際規制	
陸上規制情報	: ADR/RID 規制されていない
海上規制情報	: IMO 規制されていない
航空規制情報	: ICAO/IATA 規制されていない
国内規制	
陸上規制情報	: 規制なし
海上規制情報	: 非危険物
航空規制情報	: 非危険物
特別な安全対策	: 運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法(化管法)	: 非該当

16. その他の情報

引用 NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)
http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
原料試薬供給先から提供された SDS 等

- * 本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。
- * 新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。
- * 記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
- * 特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください